

■ 全体講評(午後)

各問題で着実に得点を積み上げる迫力のある答案は少数でした。高得点できた方は、自信を持って本試験に臨んでください。

一方、特定分野が得意なもの、苦手分野があるために合計ではもう一歩という方や、全体として思うように得点できなかった方もいると思われま。午後問題は基礎知識がしっかりあれば解答できる問題が多いので、直前の追込みで合格レベルに達する方も多くいます。過去問題演習が不足している場合は、3～8 回前の問題をターゲットにして選択予定分野を重点的に強化するとよいでしょう。

その他、解答作成の留意点を以下に 3 点書きます。

(1) 問題選択と時間配分について

時間不足になった方は、公開模試の結果を参考に、問題選択と時間配分の作戦を見直して本試験に臨んでください。得意分野から解答することが基本です。本試験は集中力の勝負です。最後の 1 分まであきらめずに問題に取り組むことが合格へつながります。

問 1～問 2 で 14 点、問 3～問 12 で 11 点以上得点できた問題は得意分野と考えてよいでしょう。本試験でも重点分野として点を稼いでください。

(2) 設問の指定項目について

「記号で答えよ」という設問の指定に対して、解答群や本文中の字句で解答する、あるいは「本文中の字句を使って」という指定に対して、本文にない字句を使うなどの解答が見られます。設問の指定項目を確実に守るよう留意してください。

(3) 文字数について

文章で解答する設問の制限文字数に対して、極端に短い解答があります。例えば「40 字以内で述べよ」という設問に対して、10 字以下でキーワードだけを記述するような解答です。制限文字数の半分以下という解答例が試験センタから示されることもあります。通常は説明不足という印象を与えます。模擬試験や過去問題の解答例を参考にして、制限文字数を有効に使うほうが確実です。

<午後>

問1 企業の経営分析

【採点基準】

[設問1]

解答例のみを正解としました。

[設問2]

解答例のみを正解としました。

[設問3]

(1) 解答例のみを正解としました。

(2) 解答例のように高齢者に関する社会的動向を述べたものを正解としました。

[設問4]

(1) 解答例のみを正解としました。

(2) 解答例のように表 4 の W1 の項目の「価格競争力が弱い」点を述べたものを正解としました。

【講評】

設問 1 では相対的に(b)や(e)の正答率が低くなりました。問題文の空欄前後のヒントを正確に読めれば特定できます。

設問 2 では、下線の前の「メニュー改訂」なども、戦略の方向性のヒントになっています。間違いでは(エ)が多くありましたが、減価償却費の特徴などについて誤解のあった方は、解説を確認しておきましょう。

設問 3 (1) では、番号なしの「S」や「O」という解答がありました。次の(2)の設問では「項目(表 4)以外の理由」を問うていますので、項目には番号を含むと判断できます。また、「O1, O2」のように機会のみを選択した解答がありますが、SWOT 分析では「強みを機会に活かす」というように考えるのがオーソドックスです。設問 3 (2) では、社会的動向に該当しない、P 社の戦略などを解答したものが多くありました。問題文中のヒントを的確に拾うように集中して読み切りたいです。

設問 4 (1) では、「W2」も散見されましたが、低価格指向という戦略案 1 に対して、Y 社の現状としてどちらが障害になるかを吟味すると「W1」が該当します。設問 4 (2) では、戦略案 1 を選ばなかった理由ではなく、戦略案 2 を選んだ理由も述べるなど、設問に沿わない解答がありました。

問2 逆ポーランド表記法の数式の計算

【採点基準】

【設問1】

解答例のみを正解としました。

【設問2】

解答例と同様の内容を正解としました。(オ)で「 $op2 \neq 0$ 」や「 $op2 <> 0$ 」, 「 $op2! = 0$ 」, (カ)で「 $i = i + 1$ 」のように、図3のプログラムの表記に合わせていないものは部分点(1点)としました。

【設問3】

解答例のみを正解としました。

【設問4】

解答例のみを正解としました。

【設問5】

解答例のみを正解としました。

【講評】

設問1～3は、全体として正答率は高かったです。採点基準に書いたように、解答表現は問題文の記述に合わせてるように留意してください。設問1(ア)の表記法を間違えた方は、解説を確認してしっかり理解しておきたいです。

設問4の正答率は低かったです。再帰呼出しで実現されるので、参照の起点は「now」になります。

設問5(1)の(サ)は正答率が高かったです。それ以外は正答率が低かったです。(シ)で「8」、(ス)で「3」という、もう一步の解答が多くありました。

問3 家電量販店のインターネット販売

【採点基準】

【設問1】

解答例と同様の内容を正解としました。(c)は「ポイントカード」も正解としました。

【設問2】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例と同様の内容について、機能として適切に表現できているものを正解としました。

【設問3】

- (1) 解答例と同様の内容を正解としました。他に「評判順」などを正解としました。
- (2) 解答例と同様の内容で、購買パターンの分析として適切な内容を正解としました。

【講評】

設問1の正答率は高かったです。

設問2(1)の正答率は高かったです。設問2(2)では、「どのような機能か」が問われていますが、「コンシ

エルジェ制度の導入」のように、機能の説明ではない解答が多くありました。同様の観点であっても「コンシェルジェへの相談機能」のようにまとめる必要があります。

「検索機能」は設問3で問われている利便性向上に関する改善なので、対象外にします。「インターネット販売と基幹システムとのリアルタイムの連携」は本文で記述済みです。また、インターネット販売システムでは、ポイントシステムを導入済みです。

設問3(1)では、「人気順」や「売れ筋」の観点は、利便性向上の(3)に記述されていますので、対象外になります。設問3(2)設問では「分析内容」が問われていますが、システムの新しい機能や戦略などを述べた解答が目立ちました。また、この設問の解答の要点は、「商品に応じた分析」、かつ「消費者の購買パターンに関する分析」に該当する内容です。商品のみを分析したもの、あるいは消費者のみを分析したものが多く見られました。

問4 サーバの更新に伴う性能評価

【採点基準】

【設問1】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のように、スラッシング現象を適切に説明しているものを正解としました。

【設問2】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のみを正解としました。

【設問3】

解答例の他に、マルチスレッド化に伴う、ディスク上のファイルへの同時アクセスの発生を説明したものを正解としました。

【講評】

設問1(1)は(a)の正答率が低かったです。空欄aの前の問題文がヒントになっています。表だけではなく、問題文の記述からの確にヒントを拾いたいです。設問1(2)では、メモリまで含めて考察できている答えは少数でした。このジャンルの問題では、CPUとディスクに加えてメモリの3点セットでいつも考察するように心掛けたいです。

設問2(1)では、得点を稼いだ方と空欄解答の方と二極化しました。時間配分に留意しながらも確実に得点したいです。設問2(2)では、解答した方の正答率は高かったです。

設問3は、マルチスレッド化やディスクの高速点滅などの問題文のヒントをもとに考察すると、正解に近づきやすいです。

問5 無線 LAN のスループット

【採点基準】

【設問1】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のように、フレームの衝突（コリジョン）をできるだけ避けるという内容を正解としました。
- (3) 解答例のみを正解としました。

【設問2】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のみを正解としました。
- (3) 解答例のように利用周波数に着眼したものを正解としました。

【講評】

設問 1 (1) の正答率は低かったです。(b)で「54 (Mビット/秒)」は IEEE802.11a と 11g です。設問 1 (2) は知識で差がついています。ネットワーク分野を選択する方は、できる限り技術的な知識を整理しておきたいです。設問 1 (3) の正答率は低かったです。

設問 2 (1) では、(c) で「ファイルサーバ」が多くありました。MAC アドレスは同一ネットワーク内の通信で用いられます。ネットワーク外の MAC アドレスは使いません。設問 2 (2) の正答率は低かったです。設問 2 (3) では、「SSID」に関する解答がありました。増設した無線 AP には新しい SSID を設定しています。読み違えている解答が見られました。

問6 受発注管理システム

【採点基準】

【設問1】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のみを正解としました。

【設問2】

解答例のみを正解としました。

【設問3】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例と同様の内容を正解としました。
- (3) 解答例のみを正解としました。

【講評】

設問 1 (1) では (a) の正答率が低かったです。関連のあるエンティティも網掛けでしたのでやや難しかったと思われますが、全てのエンティティを確定させるのが確実です。設問 1 (2) の商品テーブルと在庫テーブルの属性は得点に差が付きました。空欄部に該当する問題文に集中して、「A 社全体」と「倉庫ごと」を正確に

読み取ることがポイントです。

設問 2 では (i) の正解者が少数でした。SUM のない解答が多くありました。

設問 3 (1) では「商品名」が欠落している解答が多くありました。設問 3 (2) では、受注テーブルの内容を指摘した解答がありましたが、受注テーブルには商品番号はありません。また、出荷に着眼した解答がありましたが、SQL 文の処理とは関係しません。設問 3 (3) では解答群からの選択問題でしたが、正答率は低かったです。JOIN 処理について確認しておきたいです。

問7 マイコンシステムの省電力化

【採点基準】

【設問1】

解答例のみを正解としました。

【設問2】

解答例のみを正解としました。

【設問3】

解答例と同様の内容を正解としました。

【講評】

設問 1 の (b) と (c) は 10 マイクロ秒のオーバヘッドを考慮しない「72」「96」という解答が多くありました。

設問 2 では、消費電力に関する数値は正答率が高かったです。処理時間に関する数値は、設問 1 の誤りが反映されることもあり正答率が低かったです。

設問 3 は得点が分かれました。問題文をしっかりと読めた方は、ヒントを使って解答できたと思われます。

問8 中古車オークションシステムのオブジェクト指向分析

【採点基準】

【設問1】

解答例を正解としました。(d) は「管理者」も正解としました。

【設問2】

解答例のみを正解としました。

【設問3】

- (1) 解答例と同様の内容を正解としました。
- (2) 解答例と同様の内容を正解としました。

【設問4】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例と同様の内容を正解としました。

【講評】

設問 1 の正答率は高かったです。問題文の記述とユースケース図を対比させて考察します。図の中に既に書か

れているユースケース名を解答しているものが散見されました。落ち着いて、確実に得点していきたいです。

設問 2 で 1 は (e) と (g) の正答率が低かったです。多重度の表記が問題文と異なる解答が多くありました。表記は問題文に合わせてください。

設問 3 (1) の正答率は高かったです。記号で答えないものが散見されました。設問 3 (2) では、「締切」という解答がありました。ステートマシン図内の同様のイベントに合わせるべきです。

設問 4 (1) は、要求分析の内容を理解できれば解答しやすい問題です。設問 4 (2) では、解答の形式が設問の指定に合っていないものがありました。また、希望落札価格に対して、「＝」や「>」などのケアレスミスが多くありました。アルゴリズム問題でも言えることですが、判定式の条件は十分確認して確実にいきたいです。

問9 データベースのセキュリティ対策

【採点基準】

【設問1】

解答例と同様の内容を正解としました。

【設問2】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のように、必要最小の列（属性）と行（タプル）の両方で絞り込むことを表現できているものを正解としました。一方のみの場合は不正解としました。ビューを営業所ごとに作成することを説明できていないものは部分点（2点）としました。

【設問3】

- (1) 解答例の他に「点検」も正解としました。
- (2) 解答例と同様の内容を正解としました。業務サーバと管理者用 PC の一方のみは不正解としました。

【講評】

設問 1 では、問題点と断定できない内容を解答したものが多くありました。例えば「A システム用アカウントに全ての権限が付与されている」です。問題文の記述からは、必要以上の権限が付与されているとは判断できません。また「A システム用アカウントが共有」は、DB のアクセスログ上では利用者を識別できるので、問題とは言いきれません。また「DB 管理者が複数任命されている」も明らかな問題ではありません。明らかな問題点は解答例の 2 点です。

設問 2 (1) は解答群からの選択問題でしたが正答率は低かったです。設問 2 (2) では、「必要な属性を抽出する」という解答が多くありました。具体的に記述する場合にはより正確に解答する必要があります。属性の抽出と行の選択の両方が必要です。「ビュー」という字句

を使っていないもの、ビューを理解できていないと思われる解答も散見されました。

設問 3 (1) は正答率が高かったです。本文中にない字句を使った解答が多くありました。設問 3 (2) は正答率が低かったです。接続元のコンピュータを解答します。

問 10 システム開発プロジェクトにおけるスケジュール作成

【採点基準】

【設問1】

解答例のようにレビュー作業を含む内容を正解としました。

【設問2】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例と同様の内容を正解としました。作業の最早開始と最遅開始、あるいは最早終了と最遅終了が一致することを説明したのも正解としました。
- (3) 解答例のみを正解としました。

【設問3】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のみを正解としました。

【講評】

設問 1 の正答率は高かったです。問題文にヒントがありますので、ヒントを使って解答します。

設問 2 (1) の間違い解答では、「9, 9」が多かったです。ケアレスミスと思われます。設問 2 (2) でも、「ES と EF が等しい」のようなケアレスミスが散見されました。図で確認して確実に得点したいです。設問 2 (3) は正答率が低くなりました。問題文に書かれている情報をもとに考察することが必要です。

設問 3 (1)、(2) は解答群からの選択問題でしたが、正答率は想定より低くなりました。プロジェクトマネジメントの一般的な観点ではなく、問題文に記述のある観点を優先させることがポイントです。問 10 はスケジュール管理がテーマになっています。

問 11 IT サービスの移行計画の立案と実施

【採点基準】

【設問1】

解答例と同様の内容を正解としました。マスタ名を具体的に指定したものを満点とし、説明不足なものは、部分点（2点）あるいは不正解としました。

【設問2】

解答例と同様の内容を正解としました。

【設問3】

- (1) 解答例と同様の内容を正解としました。他に「チ

チェックリストによる確認」を述べたものも正解としました。

(2) 解答例と同様の内容を正解としました。

【設問4】

解答例と同様の内容を正解としました。本番環境と試験環境の整合性維持の目的を適切に説明したものは正解としました。

【講評】

設問1は、正答率が低くなりました。マスタデータの移行がテーマで、下線の前の問題文において、各マスタについての説明があります。詳細の説明はヒントであることが多いです。問題文の後ろの方ではなく、下線の近くから検討していくのが効率的です。

設問2の正答率は高かったです。

設問3(1)では、下線の前に「作業は1名で実施」とあるにもかかわらず、2名体制で行う施策を述べた解答が多くありました。問題文の条件を十分確認した上で考察したいです。設問3(2)でも、下線の前に「移行体制を強化して」とあるにもかかわらず、手順の確立など、体制強化に該当しない解答が多くありました。体制強化という観点を押さえた上で問題文を確認すると、ヒントが見つかります。

設問4では「パッチの動作検証」の観点の解答が多くみられました。パッチは検証環境で動作確認後、すでに本番環境にリリース済みです。リリース管理の観点という設問文の記述から、問題文の図表にも着眼します。

問12 販売管理システム再構築計画の監査

【採点基準】

【設問1】

解答例のように抜打ち監査の問題点の内容までを適切に指摘できているものを正解としました。

【設問2】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のようにユーザ部門の承認に関する内容を正解としました。

【設問3】

- (1) 解答例のように「実現可能性」を指摘した内容を正解としました。
- (2) 解答例のように、ミーティングの適切性を確認する観点を表現できているものを正解としました。

【講評】

設問1では、「抜打ち監査は指摘型になる」や単に「抜打ち監査は監査方法として不適切」などの回答がありました。目的に応じて抜打ち監査を採用することもありま

すので、問題文の監査においては、抜打ち監査が向かない理由まで説明が必要です。また、設問では問題点が問われていますが、改善案を解答したものが散見されました。

設問2(1)では、相対的に(c)の正答率が低かったです。解説の通り、表の中の「網羅」がヒントです。設問2(2)は正答率が高かったです。

設問3(1)では、「新システム自体の目的の妥当性」や「費用対効果」などの解答がありました。II.1.(9)は、システム化の目的そのものではなく、どのように実現するか観点です。設問3(2)では、表2の記述をベースに考察すると解答に近くなります。また、リスク分析と大きく離れてしまってシステム開発計画全体について言及している解答もありました。リスク分析の範囲で考察すべき問題です。

以上